

「山形市初市」の概要

■ 初市の起源

初市は最上義光公(1546～1614)治世の江戸時代初期から続く伝統行事です。

当時、山形には三日町、五日町、七日町、十日町など、定期の市が立つ市日町がありましたが、それら市の中心として十日町に市神(いちがみ)が祭られ、毎年1月10日に、市神祭りとして十日町～七日町にかけて多くの露店が立ち並び、縁起物をはじめいろいろな物を並べて売り立てるようになりました。



■ 令和8年1月10日(土)

会場：十日町角～七日町 国道112号

営業時間：午前10時～午後5時

(交通規制：午前9時30分～午後6時30分)

■ 出店数 約150店

■ 販売物

縁起物(初飴、かぶ、白^{しら}ひげ、団子木^{だんごぎ}、船せんべい、だるまなど)

木工品(まな板、臼、杵、雪べらなど)…山形市切畑地区
野菜、穀類、一般露店、キッチンカー



■ 縁起物

初飴 山形特産の紅花が豊作で、花商いがうまくいくようにとの願いから。
(昔は、盛飴もしくは旗飴。紅餅を花むしろの上に並べて乾燥することから、
白紙に点々と水飴を盛った盛飴(旗飴)がもとになっています)

かぶ 蕪 江戸時代、株は同業組合の一員としての地位や特権を表す言葉でしたが、初市の蕪は、その株に掛けて商売繁盛や身代が大きくなるようにとの願いから。



白ヒゲ 白いひげのように、豊かな老人になるまで長生きできるようにとの願いから。
(野蒜の一種)

だんご木 豊作、実がたくさんなるようにとの願いから。(木：みず木)



■初市イベント

【A Z 七日町前イベント】（内容は予定）

・四方山会による餅つき踊り 午前11時30分頃（予定）

・お神楽、お神酒振舞い 午前11時頃（予定） ※無くなり次第終了

・納豆汁の無料振る舞い 正午頃（予定） ※無くなり次第終了

そのほか、丸餅の無料振る舞いや初あめの配布を行う予定 ※無くなり次第終了

『GOGO初市ぬいぐるみ劇』

日本一の芋煮会マスコット 芋煮マン 里味ちゃん

動物ぬいぐるみキャラクターによる演劇

初あめDVD上映 初あめプレゼント

幼稚園児対象 2回公演 入場無料

午前11開演（開場 午前10時30分） 午後1時30分開演（開場 午後1時）

※イベント内容・時間等は現在の予定ですので、変更になる場合があります。予めご了承ください。



**山形市初市では、会場内及び交通規制内での
ドローンの使用を禁止しております。**